

## ■ 新ニキビ治療薬ついに登場

ニキビは、あまりにも普通すぎて、わが国では、皮膚科を受診する比率が10%そこそこです。それで、民間療法に頼りすぎて、取り返しのつかない状態になってから受診する人が多いのです。

ニキビは、主に男性ホルモンにより皮脂腺が活性化され、皮脂の分泌が盛んになり、さらに毛穴の出口の角化が亢進することにより、毛穴に皮脂が貯留し、皮脂をエサにしているニキビ菌が増殖して起こります。

海外では、ワインのコルク栓をいとも簡単に開けるように、外用レチノイドを用いていますが、日本では今まで健康保険で認められていませんでした。

しかし、遅ればせながら(世界で80番目)ワインの国、フランスで開発された外用レチノイド(一般名:アダパレン、商品名:デイフェリン)が11月、日本で解禁となります。来たれ！ニキビで悩むすべての人よ。

平成20年10月分原稿

はらクリニック 原 徹